

## 神奈川県立商業高校で「自衛官という職業」について説明 「自衛隊での資格取得に興味！」



平原1陸尉（上）・粕谷1陸曹（下）の説明を聞く参加者



自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 石井3海佐）は、令和3年3月24日（水）神奈川県立厚木商業高校から「学業等の自衛隊での活かし方を説明してほしい」という要望を受けて、校内の職業説明会に参加した。当日は、自衛隊を含む各種専門学校などから講師約25名が参加し、自衛隊を説明する教室にも1年生男女13名が訪れた。当初、担当広報官の正田2陸曹から導入として「自衛官という職業」は、特別ではなく身近な存在であることを紹介した後、前段は募集課広報幹部の平原1陸尉から「会計科職種を紹介」と題して会計業務について説明、特に取得可能な資格や会計隊が派遣される活動などについて話すところ学生も見受けられた。後段では、文書業務について総務課の粕谷1陸曹が途中クイズを交えながら説明すると、真剣に考えている学生の姿が印象的だった。学生からは「車の免許は、すぐ取れますか」と質問がでるなど、資格取得を職業選択の条件に考えていることがうかがえた。最後に、広報官から職業の多くを「自衛官」の職種・職域の中で選べることを、また募集案内所で細部の説明を実施していることを伝えて、今回の説明会を終了した。

厚木募集案内所は「今後も学校との連携を継続するとともに、このような説明会へ積極的に参加し、自衛隊をPRしていき、募集成果につないでいきたい」としている。

## 洗足学園音楽大学での自衛官募集説明会

自衛隊神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 辻2陸尉）は、令和3年4月20日（火）、洗足学園音楽大学（神奈川県川崎市高津区）において自衛官募集説明会を実施した。

当初、コロナ禍のため「学内リモート説明会」である旨を告知していたが、「リモートよりも、少人数で対面の方が質問しやすい」という学生からの声を受け、対面での募集説明会に計画を変更し同校の協力を得て実現したものである。

密を避け、ソーシャルディスタンスが十分取れる教室において、昼の部・夕方の部に分けて実施し、19名の参加を得た。

音大生の就職先は必ずしも音楽関係に絞られるわけではなく、一般企業への就職は元より、近年はキャビンアテンダント、ゲームクリエイター、レスラン経営と幅広い。学生達は、広報官（職種：音楽）による募集要項の説明を熱心に聞き入り、自衛隊には様々な職種・職域があり、個人の技能を生かせる職場があることを理解した様子であった。

溝の口募集案内所は「それぞれの分野でプロフェッショナルとして活躍している自衛官の姿は、自分の特技を生かして募集広報を行う広報官の姿そのものである。今後も、学校と協力し、学生のニーズに応える募集広報を展開していく」としている。



一般曹候補生と自衛官候補生のパンフレットを手に説明する広報官（高橋2海曹）